



国土と言葉

六

本多弘之

honada hiroyuki

法藏願心は、衆生救済の志願を国土の内容を形作るという表現をとり、その内容を完成しないあいだは、自分自身の成仏を止めるという誓いとして、仏陀の経言になった。この願心を悲願ともいうし、誓願ともいう。願心が国土の形を具体的な内容として表現するそ

のことを、経典は「功德莊嚴くどくじょうえん」と語るのだが、それを『浄土論』は「願心莊嚴」と押さえている。仏の国土の体は、願心であるということである。善導は、「弥陀の本国、四十八願」といっている。「大無量寿経」に誓願が四十八に展開されているから、その開かれた願そ

のものが、国の具体的なはたらきであるということである。「莊嚴の仏国」はこの世の「国土」とは異なり、山川や田畑がある空間のことではなく、誓願の表現空間なのである。その願心を場所として表現して、その表現された場所的空間に触れさせて、衆生に平等の存

在回復を与えようとするのである。

その国土の利益は、さまざまに表現されるが、その究極は一切の衆生に成仏を達成させることである。それで、成仏しうる可能性の功德を、「正定聚」あるいは「不退転」として与えると誓うのである。大涅槃の証を現在に必然性として孕む位を与えるという。しかしこの位は、一応は、彼の土の利益、つまり得生したら獲得できる位である。

親鸞は、本願力による衆生済度を、天親菩薩の「不虛作住持功德」に表される「観仏本願力 遇無空過者」に見た。「本願力にないぬれば 空しくすぐるひとぞなき 功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし」と詠い、それを信心の事実とする。その根拠は同じ天親菩薩の言葉たる「本願力回向」によって、凡愚が如来の大悲に値遇するところにて、願力のはたらきに包まれて、彼土の利益が此土の凡夫の事実になるといたしたのである。願心の利益を恵もうとするはたらきが、仏の名を通して衆生に来るのだ、と了解した。仏の名号は、衆生がそれを称えて往生・成仏への功德として積み上げていくというためのものでなく、名となった大悲が、衆生と出会う場、衆生からすれば仏の功德との値遇の場なのだ、と。

大悲の内実を国土の形に莊嚴するのみでなく、その功德の全体を「回向」を通して凡愚

に恵もうとするのが、名号となった仏のはたらきなのだ、と。名は名詞の形ではあるが、実は大悲の現動を保持している「動詞」なのだ。衆生を撰取して仏土の功德の場に包みこまんとする動詞なのである。だから善導は「撰取不捨のゆえに阿弥陀と名づく」というのであろう。親鸞は「回向」に値遇することによって、「願生」が願生に止まるのでなく、回向のはたらきによって「得生」の功德が恵まれるのだ、と体得したのである。

名とは言葉である。言葉によって名が事実を言い当てようとする。しかし、名が名詞に止まるとき、名で言い当てようとするものが固定して動かない何ものかになる。それ自身がはたらく事実になつていない堅い概念は、もし衆生がその体得を求めるなら仮定法でしか思考できないであろう。概念が動く動詞になるとき、衆生の意識に現在の事実として、体験されつつある生きた概念になる。それは必然性でありつつ、現在に事実の風が吹いて来ているというふうではなからうか。

そのことを、場が生命との関わりで、常に交互にはたらきあいつつ、未来から来る、と表現されるのが、清水博先生（NPO法人「場の研究所」所長）の場所論である。いのちにとって、場とは生命が成り立つ場である。場との関わりにおいて生きることが成り立っている。そして、場は生命のはたらきに作用さ

れて念々に変わっていく。その場の変化によって生命自体もまた変わっていく。だから常に二重構造として生きることが成り立つと言われる。それになぞらえて考えるなら、国土として彼方に莊嚴された願心の場は、未来からはたらく回向となつて名号に現在化して行く。大涅槃の証は、罪悪深重の衆生にとつては、どのようにしても獲得し得ない彼方の功德のだが、如来の大悲は場を開いてその場のはたらきにおいて、一切衆生に大涅槃を開示するのだ。しかし、その場に衆生の側から行こうとして、努力して求めようとしても、決して行くことはできない。無限の大悲が生み出した場は、有限の側の積み上げからは届かない。「修行して往生することあたわず」ともいわれている。

ところが、その無限に遠い距離を本願力のほうから一挙に超えて、愚かな我らに大悲の功德との出遇いをもたらす。そのはたらきが回向なのである。あたかも、生命にとつて生きる場が常に未来から来るごとく、大乘仏道にいうところの無住処（止まるところ無き）涅槃は、未来からはたらきとなつて衆生の信心に場を与えてくる。その場を名号に集約しているのが、回向の名号の意味なのではないか、と思われるのである。

（ほんだ ひろゆき・親鸞仏教センター所長）